

馬の瞳創刊 会長挨拶

我々ARC空港乗馬倶楽部は従来通り皆様に快適な乗馬ライフを提供する事をより具体化する為に新しくARC企業理念として「ヒューマンサービスを提供し潤いの有る人生を創造することで社会に貢献する」を打ち立て、その中の一つとして「馬の瞳」を創刊しこれからもより多くの皆様と明るく楽しいコミュニケーションをとって行きたいと思っております。情報を提供するだけに留まらず、皆様からの情報も載せてまいりますのでご協力の程よろしく申し上げます。



馬の瞳

第一号
H17.6.15

馬の紹介コーナー vol.1

パンケーキ

セルフランセ 産 1981.3.29生 栃栗毛 フランス(産地)



通称パンちゃん。彼は平成8年にARCへやってきました。綺麗な栃栗毛、ガッシリした体、愛らしい瞳、一度見たら心に残るタイプの馬でした。若い頃は障害馬として活動していましたがARCに来てからは一般の会員さんのレッスンを主に受け持っていました。途中からスクール・ビジターさんを中心に担当しています。名前から受ける印象と一部違う面を持ち合わせていて、時として爆走し、周りの人を驚かせた事もあります。ただ、今は高齢になり、大変穏やかで、会員の皆さんに「パンちゃん、パンちゃん」と可愛がられています。内厩で舌をペロペロ出して愛想を振りまいていますので、前を通ったら撫でて下さい。



馬具のお話 vol.1

プロテクター

何気なくいつも使っているこの道具実は馬にとってすごく大事なアイテム!!
馬は見るの通り、足の長い動物です。走れば自分の脚同士がぶつかって、怪我をしてしまうことも...

こうして主に下肢を守る為に誕生した道具が、プロテクターです。昔は布製のものが多かったですが、最近の主流は外側がプラスチックに覆われ、強度が高く付け易く、そして外れ難いプロテクターになっており、色の種類も豊富です。鞍下と色を揃えるととてもおしゃれで、乗っていると心がウキウキしますよ



前脚



後脚

先月のイベント&大会

第33回中日本馬術大会(障害の部)H17.5.13~15

ARCより会長こと高田大介、高田康司、木村勇也、間宮理恵、星野龍之介の5選手と5頭が参加しました。国民体育大会出場の前選競技会であり、新潟、長野、福井、石川、愛知、岐阜、静岡より多数の人馬が参加し、白熱した戦いが繰り広げられました。ARCの選手も頑張りました。戦績は次の通りです。

標準障害100	星野 龍之介	ドゥムル号	優勝
標準障害110	高田 大介	フィンレイ号	6位
中障害Dレディース&ジュニア	木村 勇也	フォーシーズン号	5位
中障害Cレディース&ジュニア	木村 勇也	フォーシーズン号	2位
中障害Cレディース&ジュニア	高田 康司	カサリナ号	7位
標準中障害D オープン	高田 大介	フィンレイ号	6位
標準中障害C オープン	木村 勇也	フォーシーズン号	2位
標準中障害C レディース&ジュニア	木村 勇也	フォーシーズン号	7位



第33回中日本馬術大会(馬場の部)H17.5.21~22

ARCより会長、間宮理恵の2選手とフェスティバル号、フィンレイ号の2頭が参加し健闘しました。前週に実施された大会同様、国民体育大会出場の前選競技会である為、大阪、愛知、岐阜、三重、静岡からの参加があり、レベルの高い馬場馬術の演技を観る事が出来ました。戦績は次の通りです。

第4課目2004	高田 大介	フェスティバル号	2位
第3課目2004(Long・V)	間宮 理恵	フィンレイ号	5位
セントジョージ2000	高田 大介	フェスティバル号	5位
第3課目2004(Long・V)ジュニア	間宮 理恵	フィンレイ号	優勝



乗馬技能認定合格者

5月22日に乗馬技能認定試験が行われました。会員さんの努力の結果、下記の方達が合格されました。合格者は次の方達です。合格おめでとうございます。これからも頑張って練習してどんどんレベルアップして下さい。今回は、7月24日(日)に実施予定です。

5級合格者

具志堅 秀汰君・石津 浩雅君・片山 敏也さん・佐藤 真以さん

4級合格者

藤井 利之君

3級合格者

左口 敦子さん・三宅 敦子さん・吉安 さよ子さん
大野 由紀子さん・守部 美紗子さん

2級馬場

中島 恵

2級障害

星野 麻有

何をするにも、目標というのは大事です！

「まだ、自分は…」

と尻込みしているあなたも、是非インストラクターに相談して下さい

名古屋祭り 郷土英傑行列

5月28日、29日に名古屋祭りが行われました。例年ですと10月に行われるのですが、今年は、愛知万博開催の為此の期間で行われました。ARCからも会員の方4人と**ミルフィーユ**、**ツマリキ**、**ショパン**の芦毛の三頭が大名行列に参加しました。その三頭は今までもお祭りに参加しているので落ち着いていて無事終える事が出来ました。武将を乗せて白い馬が三頭並ぶと迫力があいつもより精悍に見えました。行列に参加してくださった会員の皆さん、お疲れ様でした。



イベント告知



外乗ツアー 7/30(土)~31(日)

じっとしていても暑いと感じ始める今日この頃ですが、今年もいよいよ「外乗ツアー」の季節がやってまいりました。今年も一昨年と昨年に続き、九州は福岡県にある、「カナディアンキャンプ」にお世話になる事が決まりました。「カナディアンキャンプ」は国内でビーチライディングといえば「カナディアンキャンプ」といわれるほど、砂浜や林などといった外乗コースが充実しており、ブリティッシュ・ウェスタンを問わず流騎馬や馬車までこなしてしまうオールマイティーの馬達が揃っている事で有名です。昨年は不幸にもツアー当日に台風が来てしまい、嵐の中の害乗になってしまい大変だったみたいですが…今年は当日に雨が降らないよう皆でテルテル坊主でも作りましょうか！？その他に毎年恒例で会員の皆様主催で**花火**を夜に行っているみたいなのでそちらも楽しみです！昨年はやはり嵐で中止になってしまったようですが…あとこれは去年引率したインストラクターからの情報なのですが、「カナディアンキャンプ」の近くにあるレストランのメニューにあると言う「**玄海なだカレー**」が美味しいとの情報です！まあ実は岡田さんも昨年は食べられなかったみたいなので、あくまで噂でしかないのですけどね。などまあ色々なイベントやご飯が待ち受ける「カナディアンキャンプ」ですが皆さん楽しみましょう。



サマーキャン2005 7/27(水)~29(金)

今年もだんだんと暑い季節になってきました。さて、去年の夏に第一回サマーキャンプが行われました。子供達にとっても好評の為、今年も行うことを決定致しました。去年は、第一回ということで多少進行に戸惑いがありましたが、子供達に助けられ、大成功を収める事が出来ました。2泊3日(子供達にとっては短い?)の日程で行われた去年のキャンプでは、初めて皆と顔をあわせる子もいたり、普段は余り喋らない子もいたり、半分不安な気持ちで始まり、でも、始まってみると何のその。すぐに、皆打ち解けて仲良く遊び出しました。普段も楽しくやっている**乗馬レッスン**も皆でやると、より楽しい様子！何をするのも楽しそうな子供達。寝る間も惜しんで遊びたい子供達、風呂屋で走り回る子供達。僕達にも、こんな時代があったな~と懐かしく思いました。一番驚かされたのは、子供達の元気な事!! さっきまで、**プール**に行ってくったりしていると、勝手に**ドッチボール**を始めているみんな。無事に大きな事故も無く終える事が出来た時にはクタクタでした。今年も、7月27日(水)~29日(金)の日程で行われます。定員は**20名**ですが、すでに12名の参加が予定されています。締め切りは**7月10日**まで。お申し込みはお早めに！参加条件は、**20歳未満!**大人の人で参加されたい方には申し訳ありません(笑)。



ボーリング大会 6/18(土) 7時より開催

球技! 野球・サッカー・バスケット・テニス・ゴルフ・ラグビー・バレー・ラクロス・ドッチボール・温泉卓球、etc、etc…上げればキリがありません。しかし! 共通している事があります。それは勝者か敗者か…血沸き肉踊る戦いの中、どのようなスポーツにも最後には必ず「**友情**」が芽生えます。初夏に成り掛けた微妙に暑い季節、少しボーリングにて競い合い、会員さん同士友好を深めては如何でしょうか? 6月18日に一緒に球を転がしましょう。ピンに当たった時の爽快な音が湿った暑さを追い遣ってくれますよ。皆さん奮って参加下さい。





高田大介コラム「潤いの有る人生」

仕事で成功する事も大事な事ですし、勉学で目標を達成する事も大事な事です、我が家のミニチュアダックス「つくね」と過ごすと同時に癒されます。たかが小さな一匹ですが、彼女には多くの事を学びました。彼女と付き合っ6年、人として学ぶことは多くあります、まず彼女に癒される為には、撫でてやる、餌をやる、散歩に行かせる、一緒に遊んでやる、この4点を彼女の望む通りに、付き合う事が重要であり、愛は与えられる物では無く、愛は与える物で有る事を人生50年目にして初めて知ったのです。



高田葉子コラム「馬との出会い」

私は学生時代、短大の2年間金城学院大学馬術部にて活動していました。小・中・高とスポーツは得意な方でソフトボール、水泳、剣道と色々やってきました。大学入学にあたり次は何をしようかと思った時、父が乗馬をしていた事と父の勧めもあって、初めての乗馬にチャレンジしようと思ひ、入学後、即馬術部に入部しました。そこで馬の魅力に取り付かれカルチャーショックをうけました。生き物が相手の唯一のスポーツ、乗馬は私の人生に光を差し込むように私自身に染み込んできました。今までやってきたスポーツが白黒に見えました。勿論楽しい事ばかりではなく、思い出せば、辛い事、怖い事、悲しい事、さまざまなことが心の中にたくさん刻まれています。けれども、大学で馬術部に入部していなければ、乗馬の楽しさに巡り会えていなかったと思います。現在は馬に乗っていませんが、学生の頃に始めた乗馬が私の心を明るく支えてくれると思います。馬と出会ったのは遥か昔ですが、今でも馬は大好きで馬の話しをし始めたら止まりません。馬の話をしたい方は、いつでも声をかけてください。



星野龍之介のスイートメモリー「南風」

高校生の頃、よく親と喧嘩し家出をした。その中の多くは好きな馬の前に座ってボーっとしていた。当時、僕は乗馬倶楽部に通っていた。学校が終わると、すぐに倶楽部に行き、馬に乗り、それから渋谷と家に帰った。休みの日は、当然朝から晩まで倶楽部に居た。馬に乗るだけでなく、馬房掃除、飼付け、草刈や、ペンキ塗りなど家の手伝いは一つもしないくせに乗馬倶楽部では何でもやった。馬がとても好きで、馬の瞳がすごく好きだった。家出して、ひたすら自転車で走り倶楽部に行き、好きな馬の馬房の前に座る。時には、涙をこぼすこともあった。泣きながら馬を眺める。馬も僕をジーッと見つめている。やがて何か話が出来てくる気がしてくる。でも、実際には口に出さない。心の中で話しかけてみる。馬も心の中から話しかけてくる。僕は、何故か落ち着いた気分になり、家に帰る。高校生の僕は、壁にぶつかるとこうして馬と話をし乗り越えてきた。馬とは、すごく感受性の高い動物だと僕は思う。こっちが悲しい気持ちで見ていると、それに応えてくれている気がしてくる。面白い事に、こっちの感性も高まってくる。そして、色々な事を心で受け止め、それを頭で考える。ほんの少しだけ賢くなる。そういう時、突っ走ってきた道に戻る時、いつもと同じ風景の中をいつもと同じように自転車をこいでいるが、違った景色に見えてくる。時に、乗馬は感性のスポーツだと僕は思う。お互いの心を読み取りあい、一つ一つの障害を乗り越えていく。僕は考える。感性は知を開く扉だと。



岸野豊のマイソロジー「きっしの名古屋祭り」

先日名古屋祭りに参加する馬達に付いていきました。今年は5月に行われたので名古屋祭りがあった事を知らなかった人も多かったのではないのでしょうか。人も例年より少なかった気がします。ところで数年前ツマリキーは名古屋祭りで脱走して公道を走り回った過去があります。そのせいか、今年ツマリキーを連れて行くことが決まった時から非常に緊張していました。当のツマリキーはこちらの心配もいざ知らず、何事も無く二日間が過ぎ、過去の悪夢は繰り返されませんでした。今年は何事もなく過ぎるか、と思いきやHさんがミルフィーユに回し蹴り(?)をされるといふ事件が起きてしまいました。合戦の模範中の出来事で、騒々しい中での出来事でした。幸いケガもなく済み、最良ではなかったのですが平和に終わり我々スタッフ一同胸を撫で下ろした次第です。来年も名古屋祭りはやってきます。来年こそ、良い思い出ばかりの残る名古屋祭りにしたいと思います。



小島貴志のインナースペース「王蟲(オウム)のつばやき」

どうも、ここARCでインストラクターをしている小島です。自分がここに入社してから早いもので一年と二ヶ月ちょい経ちました。最初の頃は会員さんの顔と名前が一致無くて苦労しましたが、今はほとんどの会員さんがわかるようになりました。これも皆さんが毎週乗りに来てくれるおかげです、ありがとうございます。これからも週一と言わず暇が出来たら乗りに来る！くらい勢いで来て貰えたら幸いです。話は変わりますが、何故に自分が馬を始めたかという、まあ有りがちですが競馬の影響です。初めて競馬というものを見たのはマヤノトップガンがレコード勝ちした天皇賞春です。テレビで見ただけですが、あの時の興奮は今でも覚えています…多分。それがきっかけで馬を育ててみたい、と思い北海道へ旅立ちました。その後についてはまた次の機会にでも…ひょんな事から毎月発行する事になったこの「馬の瞳」、少しでも皆々様ぐすりと笑ってくれる記事を書いていこうと思います。どうか、暖かく見守っててください。



伊藤大介の中部屋「俺はこうして巡って来た。」

ARC新聞「馬の瞳」創刊にあたりスタッフ一人一人の記事を書くことになり、何を書いてよいかなかなか書き手で無いので難しいもので…
という事で今から自分がこの倶楽部に来るまでのことを少し書こうと思います。
自分はここに来るまで「競走馬」の育成・調教に備わってきたのですが、自分は牧場で働く前に「グリーンファーム乗馬研修」まあ乗馬研修といっても中身は競走馬の乗り方や世話の仕方を中心に勉強してきたのですが、これの研修所ではやはりまア何処でもそうなのですが「先生」という存在がいるわけでした。この「先生」という存在が未恐ろしく怖いものでして…どれだけ怖いものかと言いますと
「存在」の横を馬が通ります
速足で通過します
通過し終る前には馬が横に飛び！駆足に！
…なるんです…今回はこれにて失礼します。つぎはまた今度…



宗像義明の小言「曖昧模糊と有名無実」…読み方は辞書で調べてみましょう

訳：曖昧模糊「ものがあやふやでハッキリしない事」、有名無実「名前だけで実質が伴わない事」
自分の苗字である「ムナカタ」を出し抜き完全固着してしまった「ムーミン」
正直可愛くない。おまけにそんなに丸くもない、むしろ細い。
今は亡きトーベ・ヤンソン女史がこの事実を耳にしたらさぞ嘆くだろう。

時代は常に最先端を目標とし過去の産物には目もくれず、ただただ前へ。叡智(えいち)を極め時代の奔流(ほんりゅう)は止まる事を知らず同時に沈殿(ちんでん)した泥のような社会問題を取り除こうと日々葛藤。

今この瞬間こそ大黄金時代にして大暗黒時代にして大混乱時代。

…そんなことは微塵(みじん)も関係しないこの「ムーミントロール」日本語化すれば「夢眠(ここ少しトリビア)自分の本名を呼んでくれる方は本当に極一部、そんな皆さんありがとう。現在では自分も定着しきって自然反応してしまう始末。人間の環境適応能力の高さは氷河期に生き延びたマンモス並みだと思えます。定着概念(ていちゃくがいねん)とは愛唱(あいしょう)と愛称(あいしょう)そして哀傷(あいしょう)。結局何が言いたいのかと言いますと、簡単に覚えて貰えるしー長ー短(いっちょういったん)って事です。本人は全く気にしていませんので気軽に呼んで下さい。



中島恵の「研修生初レッスン」

4月よりA.R.Cの研修生として働いています。普段は馬房をキレイにしたり、スクールさんやファーストレッソンの方を担当しています。まだまだ未熟ですが、徐々にですが慣れてまいりました。不慣れな分、間違いも多いと思います。ご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、よろしくお願いします。

さて、そんな私が始めて調馬策をしたのはモデルさんでした。男性の方でとても明るい特徴のある人でした。ミルフィーユに乗ってもらい、カメラマンは岡田さん。まずは外乗から、と言うわけで外を一周しながら写真を撮っていきました。この男性、よくよく聞いてみると子供向けヒーローモノのショーを仕事としているようで、身体能力には長けている様子。以前A.R.Cで5級ライセンスを取ったとも聞き、馬には少し慣れているらしく撮影は順調に進みました。その日は風が強く、時折鏡でチェックしながら次は大馬場へ。初めての調馬策だったので緊張してしまい、うまく動かせませんでしたがモデルさんには楽しんでいただいたので成功、かな？ そんなこんなで今はもう緊張せずに調馬策を周せるようになりました。私にあたった方は、レッスンはもちろんですがお喋りを楽しんでくださいこれからも、よろしくお願いします。



星野麻有の「馬の食べ物」

ARCでは馬たちに主にキューブ・ふすま・麦・塩・カルシウムを食べさせています。

キューブとは、栄養たっぷりの草を乾燥させてギュッと固めたものです。

ARCでは朝・昼・夕の三回にわけて食べさせています。一頭ずつ名前入りのバケツがあり、朝餵後に昼餵を…と、言うふうにはスタッフが一頭一頭量を決めて作っています。キューブは配るのが楽など人間にとって利点が多い飼料ですが、本来一日中草を食んでいる馬にとっては噛み足りない事もあっていつも「何かくれ〜」なんていわれちゃいます。

ただキューブは高カロリーなので、皆さんおやつやご褒美を上げる時は、人参だったら一頭一本まで決めてあげて下さい。年をとっている馬達には「だぼ飼い」という、水、又はぬるま湯でふやかし、お粥状にしたものを食べさせたりもします。

そしてARCの敵とは平和の象徴である鳩です！ハト達は常に「麦」を狙っています。馬が食べ散らかした物や、飼い付けの時間に馬房にいない馬の飼桶やら…。どんごろす(キューブが入っている麻袋)を飼桶にかけておいてもその下に潜ってたべようとします。中には馬の足元に落ちた麦を食べようと必死になっていて踏み潰されてしまった鳩も(汗)

ARCアイドル猫のシロも時々ハトを捕まえてはくれますが…鳩の数の多い事。

インドアの馬たちに糞を落としますし馬を驚かすし…。日々鳩達と戦っているスタッフ一同です



最後まで「馬の瞳」を読んで頂き有難う御座いました。

楽しく読んで頂けたでしょうか？

6月1日に某インストラクターの発案により、毎月15日に発行される事になりました。

まだ、一号目という事で試行錯誤でどうにか発行した訳ですが、まだまだ皆で勉強中です。

乗馬に関する記事はもちろん、その他のことに関しても皆さんに楽しく読んで頂ける「馬の瞳」になればと思っております。

その為には、是非会員さん皆さんの力添えが必要です。

休憩室に意見箱が設置されております。是非、皆さんのご意見を休憩室の意見箱に投入下さい。

小さな事でも構いませんし、匿名でも構いません。もちろん、乗馬倶楽部に対しての意見でも構いません。

お気軽に御意見をお寄せ下さい。

また、編集部では会員さんからの記事を受付しております。

段々と皆さんも製作に参加し、一緒に作り上げていければと考えております。

乗馬倶楽部で自分が思った事や楽しかった事、乗馬に関係なくても**日常で起こった面白い事**、**疑問に思った事**など何でもどんどん記事にしちゃって下さい。

また、自分の**職場(お店など)の紹介**や、**自分のお気に入りの飲食店**、**喫茶店**、**秘密の遊び場**など、どんな事でも構いません。

記載希望して頂ける方は、事務所までお持ち下さい。もし、匿名でという方は意見箱と一緒にに入れてください。

ご協力宜しくお願いいたします。

それでは、また次号7月号(7月15日発行予定)をお楽しみに～

編集部より

